

「アカトンボ観察会」 (平成30年10月14日開催)

10月14日(日)。参加者43名。

はじめにビジターセンター細田所長からアカトンボに似た仲間とアカトンボの見分け方などについて説明があり、そのあと観察路に出かけました。雨がまだ少し残り、気温も上がらない中でしたが、何種類かのアカトンボを見つけることができました。

1 勉強会

一般に「アカトンボ」と呼ばれるのはアカネ属のトンボで、色が赤くてもアカトンボではない種類(ショウジョウトンボやウスバキトンボなど)もあります。またアカトンボにもいくつか種類がありますが、翅(はね)の模様や色で見分けることができます。説明後、スライドを見ながら「このトンボは何?」と講師が質問すると、子どもたちが手を挙げて元気良く答えてくれました。

2 野外活動

桶ヶ谷沼は自然環境保全地域。貴重な動植物を保全することを目的に指定された地域ですが、今日はトンボの観察会で特別です。虫あみで一度捕まえて「このトンボは何という種類?」とじっくり顔や胸の模様などを観察して、また空へとトンボを放しました。

3 ナツアカネ

ナツアカネのオスは頭も胸も真っ赤です。また、胸の黒条の先端は角ばっています。

4 アキアカネ

アキアカネのオスは成熟しても頭や胸部は赤くなりません。胸の黒条の先端はとがっています。

5 マユタテアカネ

少し日影にある、目の高さほどの枝に止まっているのを見つけました。顔面に眉斑(まゆはん)があるのが特徴です。「あ〜本当だ!眉みみたいな模様があるね」と、みんなで顔をのぞきこみました。

6 ノシメトンボ

翅(はね)の先端に黒い模様があること、胸にある太い黒条が上まで届いているのが特徴です。

7 まとめ

野外観察から戻った後にまとめをし、たくさんのトンボの写真から今日見つけたトンボの写真を探して観察シートに貼り付けました。

今日の観察会で見つけたのは、アカトンボの仲間ではナツアカネ、アキアカネ、マユタテアカネ、ノシメトンボ、それ以外ではウスバキトンボとアジアイトトンボでした。

みなさんも秋の空を見上げて、アカトンボの姿を追いかけてみませんか。

1 勉強会



2 野外活動



3 ナツアカネ



4 アキアカネ



5 マユタテアカネ



6 ノシメトンボ



7 まとめ

